

モダンな外観が印象的
モミの木が叶える快適な我が家

次世代の住まい
CASE 44
 宮城県石巻市
Nさんの家
 取材日/2015年2月



吹き抜けからも光が差し込む明るいリビング。腰壁のモミの木の色合いにナチュラルトーンのインテリアがマッチしています。

「家を建てたのは今回で2回目なんです」とNさん夫婦。前の家は、新築して半年も経たないうちに東日本大震災の津波で浸水の被害に遭いました。仮設住宅で暮らしながら、前と同じ場所で新たな家づくりを」と奮起。注文住宅で自分たちの希望を叶えてくれる住宅メーカーを探しているとき、同じ時期に家づくりを進めていた奥さまの同僚に薦められたのが、Nさんご夫婦とモミの木の家との出会いでした。モミの木が印象的だった」とお二人。アレレラーのある息子さんのためにも全室モミの木フロアで腰壁も多く配したモミの木の家を希望になりました。引き渡しから1年が経ちますが、息子さんは家の中では鼻炎の症状が出ないそうです。木の温もりには慣れていましたが、モミの木は思った以上に魅力がありました」と奥さま。ご家族皆さん、モミの木の床のさらりとした肌触りがお気に入りだそうです。ご主人は、家族の暮らしを映しながら経年変化していく木の味わいを楽しみだそうです。じつじつと楽しみながら打ち合わせを重ね、細かな要望に応えてもらったおかげで思い通りの家ができました」とお二人。



「吹き抜けと梁のある家」はご主人のご希望。あかり採りの窓がおしゃれ。

担当より一言

営業 菅原

N様との出会いは平成25年6月でした。東日本大震災で新築したご自宅が約3ヶ月で被害に遭い、1次に建てる家は自分たちが本当に建てたい家になりたいとお話をされて、「この家づくりを建てるのが夢だった」とおっしゃって頂いた時は嬉しかったです。共に責任感を覚えました。プランの打合せではN様のこだわりを出来る限り取り入れようという事で時間をかけましたので、今考えるとあっという間でしたね。建築中も現場で打合せをさせていただきましたが、「今は出来上がっていき家を見るのが一番の楽しみ」と笑顔でおっしゃっていたのが印象に残っております。N様のこだわりがふんばりに込められたお家は私にとっても印象深い記念のお家になりました。今後共々永いお付き合いを宜しくお願い致します。

復興に向かう地域の中に凛と佇むモダンな外観。暖かく居心地のよい空間にご家族の思いが詰まっています。ご主人は「津波被害からこの場所にしっかりと戻って来た家。100%満足です」と笑顔でした。



システムキッチンと食器棚は奥さまが一目ぼれしたナラ材で揃えました。遠赤外線クッキングヒーターDGHは「加熱時間が少なくて済む」とお気に入りです。



ロフトへ続く階段周りを広々と使った2Fホールは、家事スペースとしても、ちょっとしたくつろぎの時間を過ごすのも快適な空間。



屋根の勾配で生まれた空間をロフトに。収納スペースとしてはもちろん、隠れ部屋の使い方も楽しめます。



キッチン、ダイニングは緩やかにつながりながらも空間を分けた設計に。手前のリビングとも仕切りで分けられるので来客の際に便利です。



CASE44:宮城県石巻市 Nさんのお宅

家族構成:ご主人、奥さま、長男、長女
 延べ床面積:約41坪 部屋:
 こだわり設備:モミの木の床、スピノフ、太陽光発電



ロフト付の子ども部屋。奥さま手作りの可愛いラグが娘さんの雰囲気ぴったり。



畳の周囲にモミの木を配しています。収納棚の下の空間は部屋を広く見せる効果が。



発電量が高く、軽量で屋根の負担が少ない太陽光パネルを採用。光熱費が大幅に減りました。

